

BIND

vol. 17
2019.12.6
発行



総合職長

鶴田 悅

職人の仕事に惹かれて

総合職長である鶴田悌は、1988年（昭和63年）に新卒で株式会社ダイニッセイに入社した。当時、ダイニッセイに勤めていた叔父（故 鶴田逸司職長）からの紹介がきっかけで、熊本県天草から千葉にやってきた。長年にわたり第一線で活躍する中で、思い出に残る現場をいくつも経験してきた。

学生時代から「職人になりたい」と思っていた鶴田。天草には無いような大きな建物を作つてみたかった。昔から身体を動かすのも好きで、小学校時代からソフトボールのクラブに所属。キャプテンとしてメンバーを牽引する存在だった。仲間とともに一つの目標に向かい、汗を流して作り上げる。仕事を終えた後の達成感は、チームスポーツで勝利を獲得したときのものとよく似ている。

当然のことだが、鉄筋工事は建物が完成した後は見えなくなる。しかし、仲間たちと苦労して組立てた鉄筋は、今日も建物をしっかりと支えている。規模が大きくなればなるほど鉄筋の果たす役割も大きくなり、多くの人々の安心・安全を築いている。竣工した建物を下から見上げたときの高揚感は、次の現場へのモチベーションにもつながっているのだ。

家族の存在が 仕事への活力となる

鉄筋工事の仕事で一番辛いのは、夏場の作業だ。地球温暖化のせいで夏の暑さは年々厳しさを増している。照りつける太陽の下、ジリジリと焼けた鉄筋を持ち、滴る汗をぬぐいながら作業をする。いくら暑いからといって、軽装で現場に入るわけにもいかない。最近はファン付の空調服のおかげで、少しは楽になったかもしれない。それでも暑いことには変わらない。とはいっても自分が苦しい時でも総合職長として、一緒に働く仲間の健康と安全は、絶対に守らなくてはならない。心身ともに削り取られていくようで、夏の仕事は大変だ。

そんな状況に挫けそうになつたこともないわけではないが、それでも頑張つて乗り越えてこられたのは、家族の笑顔を守るためだ。

鶴田には、妻と3人の子どもがいる。子どもたちは皆、バレーボールのチームに所属し、日々練習に励んできた。休日は鶴田も子どもたちの試合の応援に行くという。辛い場面でも挫けず、ボールに食らいつく子どもの姿を見ていると、自然と仕事への活力も湧いてくる。現場での自分の一挙手一投足が、家族の生活を支える糧になる。猛暑の作業場に向かうときには、そんな家族の存在が原動力となってくれるのである。

総合職長としての 役割と仕事の醍醐味

これまで数多くの現場をこなしてきた鶴田にとって、忘れない仕事は復原工事だ。鉄筋工事としての規模は大きいものではなかつたが、最も難易度が高い部位を任せられた。長い歴史のある建造物の工事に携わったことは、自身にとつて誇りになつていている。



保存・復原

復原工事だ。鉄筋工事としての規模は大きいものではなかつたが、最も難易度が高い部位を任せられた。長い歴史のある建造物の工事に携わったことは、自身にとつて誇りになつていている。

総合職長として、現場の職長たちをまとめるのも、鶴田の役目である。責任の重さは感じるが、子ども時代から周囲を牽引する役を担うことが多く、その重圧はかえつてやりがいにもなつていて。いつの間にか、自分自身もヘテランといわれる年齢になつてきたが、先輩職長たちの仕事ぶりは、今もなお自身の目標すべき姿でもある。多くの業務を手際よくこなし、的確な指示で皆を引っ張つていくその背中は、いつも憧れだった。総合職長となつた今、どれほどその先輩たちに近づけているのかはわからない。だが、いつかはその域に達すると信じ、歩みを止めず進んでいこうと思う。

これから進むべき道

思い起こせば、若手時代から常に向上心は持つていた気がする、という鶴田。同年代には絶対に負けない、先輩を追い抜いてやる、早く職長になりたい…といい、常に目標を掲げてチャレンジしてきたと思う。もちろん失敗もあつたが、それさえも自身の糧としてきた。

「自分の任された現場を、責任を持つて終わらせること。そして、次の現場に生かしていくことを、今の若い職長たちにも伝えていきたい。以前携わった仕事と似た現場は必ずあるから、たくさんの経験を蓄えておけば、いつか必ず自分を助けてくれるはず」。

「都会で大きな建物を作りたい」という幼い頃からの願いは、職長・総合職長として、何度も叶えることができた。

しかし、まだ満足することは無さそうだ。鉄筋工事の世界に飛び込んだ以上、一番になりたい。個人的にも、もっとレベルの高い職人、職長になるべく、努力を続けていく。そして鉄筋工事はチームプレイだ。ダイニツセイが実力No.1の技術集団として、成長を続けているよう、仲間たちにも同じ意識で進んでもらいたい。

さらなる高みを目指して、鶴田はリーダーとしてチームを牽引していく。



TETSU-1 グランプリ2 大会連続出場

「Evolution Project」 進化プロジェクト

始動

!!

このプロジェクトにより生み出したい効果とは……

企業PR力の
向上

- ・メディア露出による認知度向上!
- ・新規取引先開拓にも効果的!

離職防止

- ・社員の帰属意識の向上、
モチベーションアップ!

採用の質と量の
向上

- ・優秀な人材の獲得!
- ・競合と比較した際の勝率がUP!

このプロジェクトの意義・目的について

本プロジェクトは、これから入社してくれる若い世代に自社の魅力をもっとアピールしていきたいという思いから始動しました。これまで会社としての技術力には自信があったものの、それを上手く表現しきれていました。そのため、このプロジェクトを通じ宣伝効果を高めていきたいと考えています。

また、今回30数年ぶりにロゴを一新することを決めました。ロゴを変えると気分も高揚すると思うので、今いる社員の団結力向上にも繋がったら嬉しいです。特にベテランの皆さんにはこれからもずっと新しいことにチャレンジし続けてほしいと考えているので、気持ち新たに頑張れるきっかけになればいいなと思います。



今！変革の時！

ダイニッセイプロジェクト概要

では実際に当プロジェクトがどのような内容なのか、どのようなことを行っているのか。今、まさに変革の時であるダイニッセイ。今号ではそのプロジェクト概要について分かりやすく解説をいたします。

プロジェクト運用会社紹介

RAYNAS

どんな会社なの？

RAYNASのサービスは商品開発・企画からPR活動・プロモーション活動ECサイトの売上向上や改善活動などを行う会社。

＼私が担当しています！／



アドバイザー
花澤 多恵 (はなざわ たえ)

Profile

銀行を経てレイスグループへ入社後、経営顧問とのマッチングビジネスに従事し、約100社のプロジェクト運営に携わる。レイナスでは30社以上のコンサルティングに従事。

こんな方が監修しています…！



ブランドコンサルタント
長田 敏希 さま

Profile

グリコ「SUNAO」や、UHA味覚糖等、ナチュラルティストのデザインやプランディングを多く手がける。グッドデザイン賞、毎日広告デザイン賞など国内外での受賞多数。ブランドコンセプトの設計、コンセプトの設計に基づいたデザイン、リプランディング、そしてブランドコンセプトに合ったキービジュアルやコピーの作成等を得手としている。



クリエイティブディレクター・
コーピーライター
安田 健一 さま



ブランドディレクター
八幡 清信 さま

では実際にどんなことをやっているの……？

SNS

- ・各SNS運用(Instagram、Twitter)
- ・社員に向けたインターネット講習
- ・自社内での投稿率向上を目指す

コンテンツ

- ・HPリニューアル及びSNSとの連動
- ・採用ページ強化
- ・オリジナル社内備品の制作(ロゴマークもリニューアル)

PR

- ・プレスリリースの実施
(学生向け、イベント連携)

イベント

- ・同業界を巻き込んだイベント実施
- ・外部イベントへの参加
- ・自社イベントの開催

次号 プロジェクト紹介予告▶『遂に決定！ダイニッセイの新たなロゴマーク！』

現場の力



宇井野さんに聞く!

宇井野 凱士(ういの かいと)

鉄筋工事部 担当現場: [REDACTED]



プロジェクト概要と特徴

神奈川県川崎市 [REDACTED] 病院を作っています。ちょっと遠いのですが、毎朝アクアラインを渡り、みんなで通勤しています。2019年の8月から鉄筋工事はスタートし、2020年の夏までかかります。現場全体で100名ほどの職人が作業しています。ダ

イニッセイからは20人くらいです。今は、基礎や免振基礎部分を施工中です。太い鉄筋が一番多く入る部分ですね。



苦労したこと

免振装置が取り付く部分は、最も精度を要求される部分です。鉄筋同士の間隔や位置が少しでもズレてしまうと、打設したコンクリートを取り壊さなくてはならないほどです。施工ミスを防ぐために、図面のチェックや施工後の確認を徹底しています。

他の現場はどのように取り組んでいるのか。どのように気につけて仕事をしているのか。異なる現場で働く仕事仲間の普段の様子をお聞きしました!

うれしかつた出来事

今のところですが怪我や事故もなく、無事に作業を進められている事ですね。配筋検査では「良い仕事をしている」と褒めていただいている。みんなで一生懸命作ったものが評価していただけるのは嬉しいです。これからもずっと続けていけるよう頑張ります。今後も無事故で進めていきたいです。



活躍している現場の方

つるた やすし
靄田 悅さん(職長)



この現場を取仕切っている総合職長です。すごいリーダーシップがあって、現場を引っ張っています。現場監督や他職の職長にも、頼りにされているのが分かります。経験も豊富で技術面でも尊敬しています。

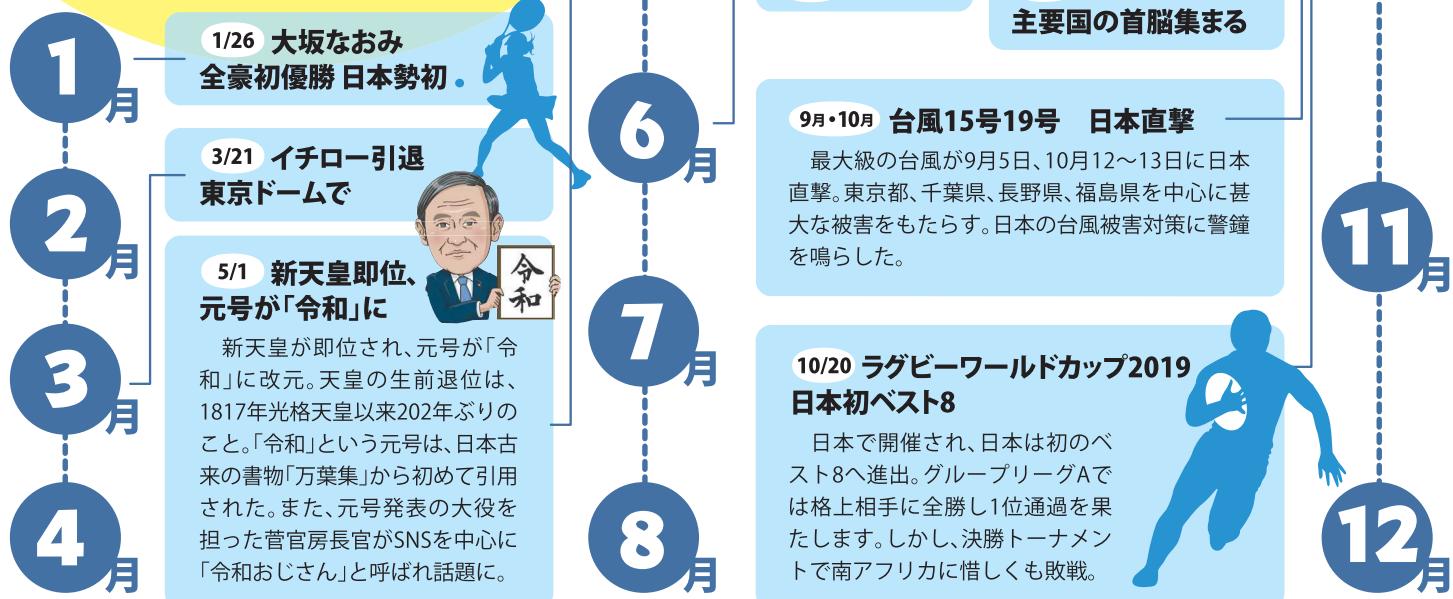
プロジェクトの成功に向けての意気込み

まだ基礎工事の段階なので達成感とかはないのですが、これからは地上工事が始まると、高所での作業も出てきますし、自分にとっては初めてチャレンジする仕事も出てくると思います。どんな状況でもしっかり準備をして、無事に工事を終わらせたいです。仕事もたくさん覚え、現場が終わるころには立派な“リーダー宇井野”になります!?



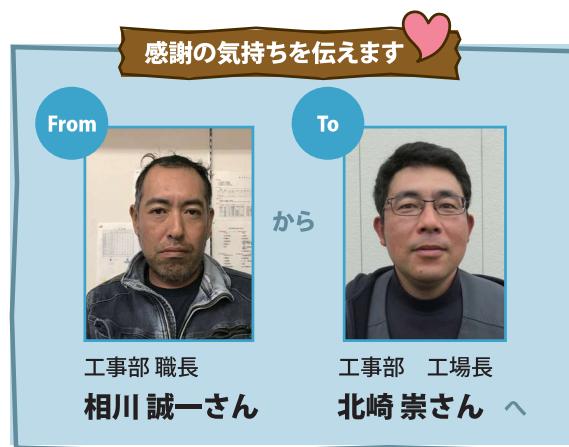
2019年 プレイバック!

2019年はどんな年でしたでしょうか。
世間ではあっと驚くような出来事が多くありました。
この機会に、2019年を振り返ってみましょう！



つなげよう 感謝リレー

「ありがとう」の言葉は、言う方も
言われる方も笑顔になってしまう
魔法の言葉。
皆さんの「ありがとう」のバトンを
つなげていきましょう！



相川さんコメント

現場への加工を行ってくれてありがとうございます。
急な追加、現場の重量制限等に対応してくれて助かっています。



HAPPY BIRTHDAY
12月生まれの方々

12/1

工事部
なかじま あきら
中島 玲さん

12/5

会長
いけだ しんじ
池田 慎二さん

12/29

社長
いけだ よういち
池田 洋一さん